

道徳

教えて！加藤先生

教えて！土田先生

千葉大学教育学部教授

土田 雄一

『小学道徳 ゆたかな心』(光文書院)監修

食育は SDGsにつながる

食育は「SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」につながります。

食育は、自分も食べ物も大事にする教育です。何よりも「持続可能なこと」が食育にとって最も大切です。自分の体を考え、バランスのよい食事をする習慣を身に付け、それを継続することは、食料を大切にし、飢餓をなくすこと（目標2）や環境を守ることにつながるのではないのでしょうか。

先日、資源が「もったいない」と考え、消費期限切れ直前のコンビニ弁当を購入したときのことです。自分の健康を考え、お弁当のご飯を半分以上残しました。このことを妻に話すと「あなたの健康にはよいかもしれませんが、資源を無駄にしている」と言われました。「食べられるご飯を捨てたから」です。妻はご飯を別の容器に移し、保存して食べていました。さすがです。自分の健康と環境にも優しい行動を考えさせられました。どちらも「持続可能な取り組み」がいちばん大切であり、課題です。

筑波大学附属小学校教諭

加藤 宣行

『小学道徳 ゆたかな心』(光文書院)監修

納得解を 引き出せる授業を！

一学期が終わろうとしています。

昨年度のこの時期は、休校だったり、オンライン授業だったり、「非日常」が続きました。それに比べると、今年度は対面の授業が戻り、それだけでも幸せな気持ちになります。

私は、今年度は1年生の担任としてスタートし、子どもたちと一緒に何事も新鮮な気持ちで過ごすことができます。道徳の授業も同じですね。分かりきった、見え見えの「答え」を言い当てていき、再確認するような授業ではなく、その内容項目がもつ本当のよさを改めて見つめ直す。そこから生じた価値観は、人から押し付けられた「一般解」ではなく、自分たちで再構築した「納得解」となります。

深く考え、議論するという道徳科の授業の醍醐味は、そんなところにあるように思います。

まだまだ予測不能な状況が続くかもしれませんが、だからこそ、自ら考え、前向きに生きようとするたくましさや道徳教育を通して培っていききたいものですね。